

藤原・奈良俣再編ダム再生事業 事業概要

国土交通省 利根川ダム統合管理事務所
水資源機構 沼田総合管理所

藤原・奈良俣再編ダム再生事業 事業概要

位置図



○場所

【藤原ダム】…関東地方整備局

群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字大倉(左岸)
群馬県利根郡みなかみ町大字夜後字洞永(右岸)

【奈良俣ダム】…水資源機構

群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字洗の沢(左岸)
群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字奈良沢(右岸)

○目的

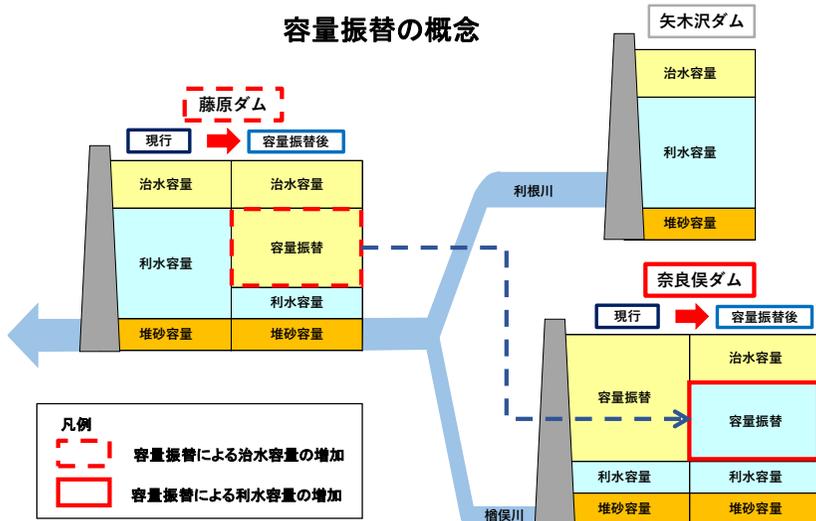
洪水調節（奈良俣ダムの洪水調節容量239万m³と藤原ダムの利水容量239万m³の容量振替を行うとともに、藤原ダムの洪水調節方式の変更により、治水機能の向上を図る。）

○工期 令和元年度～令和4年度

○事業費 17億（放流設備改良等）（内藤原ダム分約8億）

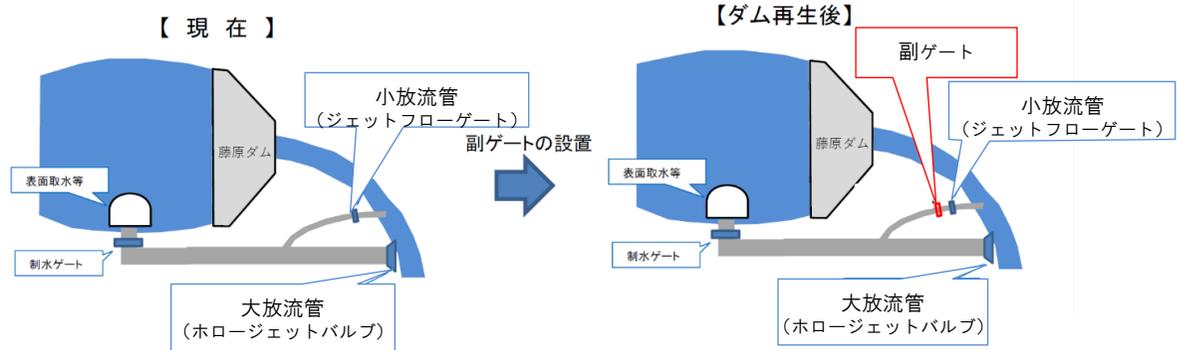
年月	経緯
昭和33年5月	藤原ダム竣工
平成3年3月	奈良俣ダム竣工
平成18年2月	利根川水系河川整備基本方針の策定
平成25年5月	利根川水系利根川・江戸川河川整備計画の策定
平成31年4月(R1)	実施計画調査着手
令和2年4月	建設事業着手

容量振替の概念

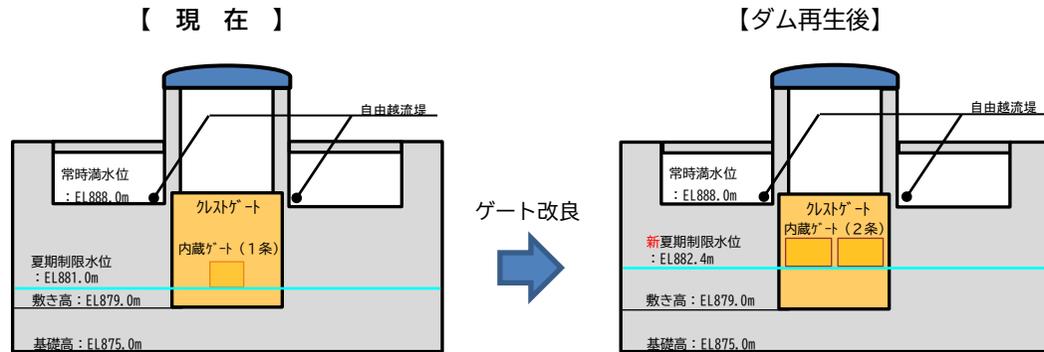


藤原・奈良俣再編ダム再生事業 施設概要図

●藤原ダム放流設備(バルブ)への副ゲート設置



●奈良俣ダム常用洪水吐改良の構造変更



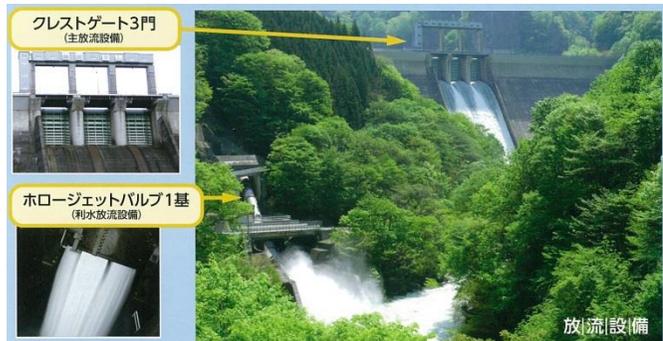
- 藤原ダムの放流設備(バルブ)は、小放流管(ジェットフローゲート)の点検時や故障時等においても大放流管(ホロージェットバルブ)を使用できるよう、副ゲートを設置します。【施行 国土交通省】
- 奈良俣ダムは、夏期制限水位が1.4m上昇することから放流設備の改良が必要となります。【施行 水資源機構】

藤原ダムと奈良俣ダムの概要（現行）

バルブ表面取水設備 常用洪水吐き 藤原発電所取水設備



放流設備 表面取水設備



ダム名	藤原ダム	奈良俣ダム
ダム管理者	国土交通省	水資源機構
竣工年	昭和33年5月	平成3年3月
ダム事業根拠となる法規	河川法第17条	水資源開発公団法
目的	F・N・P	F・N・A・W・I・P
形式	重力式コンクリートダム	中央遮水壁型ロックフィルダム
ダム高(m)	95	158
流域面積(km ²)	401	95.4(直:60.1 間:35.3)
湛水面積(km ²)	1.69	2
貯水池運用方式	制限水位方式	制限水位方式
洪水調節方式	1,400→520 自由越流+一定量方式	370→10 自由越流方式
特定用水	なし	特定灌漑0.69m ³ /s(千葉県農業用水:東総用水) 群馬県工業用水0.65m ³ /s 各県上水道8.045m ³ /s(群馬県2.435m ³ /s、茨城県0.179m ³ /s、 埼玉県0.951m ³ /s、千葉県2.41m ³ /s、東京都2.07m ³ /s)
発電参加者	東京電力(株)	群馬県企業局
発電所名	藤原発電所、玉原発電所	奈良俣発電所